

川崎市国際交流センターで行っているイベント・講座案内

下記「講座」の申し込み先は川崎市国際交流協会まで(8ページ参照)

講座 2014年度 前期語学講座の申し込み受付中です!!

2014年4月より各講座を開始します。

◎会場:川崎市国際交流センター・研修室

◎定員:各クラス20~25名(定員を超えた場合は抽選)

◎受講料:下記参照

◎申込方法:往復ハガキ(1枚につき1名、1講座)に①講座名、②受講者名(フリガナ)、③郵便番号・住所、④電話番号を記入の上、申し込んでください。返信はがきにも住所・氏名をご記入ください。

◎締切:3月13日(木)当日消印有効

※受講料にテキスト代は含まれておりません。

講座名	日程・時間	講師	受講料(税込)
ゼロからの英会話	木曜 夜(全18回)	ジョナサン・キャンベル(フェリス女学院大学講師)	20,770円
トラベル英会話(初級)	水曜午前(全18回)	ステイーブ・リア(玉川大学准教授)	20,770円
中級英会話A	水曜 夜(全18回)	ジョン・プラスキー(東京女子大学講師)	20,770円
中級英会話B	土曜午後(全18回)	トレバー・モレイ(フェリス女学院大学講師)	20,770円
英語でディスカッション(英検2級以上)	火曜 夜(全12回)	ルース・ファロン(慶應義塾大学講師)	18,510円
中級+コミュニケーション(英語・準1級レベル)	土曜午前(全18回)	ステイーブ・リア(玉川大学准教授)	20,770円
入門編が終わった人のための中国語	土曜午後(全18回)	高 偉建(慶應義塾大学講師)	20,770円
トラベルフランス語(初級)	木曜午後(全12回)	アレクサンドラ・小椋・クレメール(慶應義塾大学講師)	18,510円

※当講座の語学講座は、すべて半期ごとの内容で、年間を通じた継続講座ではございません。諸般の事情により、上記の内容に変更が生じる場合がございます。

地球市民講座 「世界自転車冒険の旅 感動の風景と世界の笑顔に出会った」

自転車で走り抜けた国54か国、49,000km走破

◎日時:2014年3月15日(土) 午後1時半~3時

◎場所:川崎市国際交流センター・ホール

◎講師:下川靖夫(冒険家)

◎主催:かわさき国際交流民間団体協議会

◎共催:公益財団法人 川崎市国際交流協会

◎後援:川崎市・川崎市教育委員会

※下川靖夫写真展 同時開催(2014年3月8日~16日)

川崎市国際交流センター・展示ロビー

入場
無料

講座 春休み子ども語学講座(全3回)

◎定員:各クラス15名(抽選)

◎申込:往復ハガキ 3月10日(月)必着

◎場所:川崎市国際交流センター ◎日程:3月25日(火)~27日(木)

教室名	時間	対象年齢	講師	受講料(税込)
子ども英語A	9:50~10:50	現小学1・2年生	ヴィクトリア・ルカシュク (モスクワ出身)	3,000円 (教材費込)
子ども英語B	11:00~12:00	現小学3・4年生		
子ども中国語A	13:00~14:00	5歳~小学生 (保護者入室可)	斎藤優理絵 (上海出身・元音楽教師)	

講座 外国人のための日本語講座 1学期 4月開始

◎午前コース:4/22(火)~7/11(金) 11,220円(22回)テキスト代別

◎夜間コース:4/16(水)~7/9(水) 6,120円(12回)テキスト代別

◎申込:随時(いつでも) レベルチェックあり

前期のイベント・講座予告

◎民間交流団体国際交流事業補助金申請団体募集中

◎ウーロンゴン大学日本語研修に伴うホームステイ募集開始(4月~)

◎英語による国際理解講座(全3回、6月)予定

◎第20回ハーバード大学 クロコディロスコンサート(6月)予定

川崎で頑張っている
民間団体
紹介……17



日本伝統“水引”工芸研究会

伝統技術の決まりごとを大切に…

平成元年6月6日に発足してから、川崎、横浜と活動の場も広がってまいりました。

水引とは、日本古来からある「結び」の伝統技術です。1300年以上昔、遣唐使小野妹子らによって中国より持ち帰られた献上品に、紅白の麻紐が結ばれていたのが始まりと伝えられています。

現在、水引というと結納飾りが主流ですが、長野県飯田市の『文七元結』として伝統を受け継ぎ、相撲の力士のまげに使っています。昔は

手作業で和紙をより、着色してのり引きし、天日に干して作ったのですが、今では機械でねじって絹糸を巻きつけた200種類以上の水引があります。

水引の特徴は、色の使い分けと結び方:結びは、8種類の伝統的基本結びからバリエーションは50種類以上(作者によってアイデアがたくさん)。伝統技術のため、実用新案や特許はなく誰でも作れます。最近では、のし袋を海外に外注しているようですが、日本の伝統技術の決め



事は守りたいものです。「水引」が日本の伝統技術であることを知って、後世に残していきたいと思い、研究と活動を続けています。

文・写真提供:
日本伝統“水引”工芸研究会 会長 島崎 春子
問い合わせ先:(044)975-0984
(090)8026-5989